

## ふるさと歴史散歩 232

～松前史談会レポート～

### 天長寺、横田地区めぐり 1

横田地区は松前町の南端にあって、北伊予では最小の集落である。地名の由来は定かでないが、「横」は方言で「そば(ネキ)」を意味している。地域のほぼ中央を東西に流れる大谷川の「そば」から由来しているようだ。

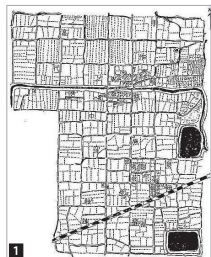
この横田地区は、条里制により大谷川以南はほぼ正方形になっている。条里制は、律令制度の下で行われた土地の区画制度のことで、土地を基盤の目のように区画し、1辺6町(約654m)四方を里と呼ぶ。奈良時代中期に発布された墾田永年私財法の施行で、富豪や有力寺社による農地開発の急増が条里制の始まりという、歴史を感じる古い集落である。

横田地区に入り大谷川を越えると、すぐ素鷲神社がある。慶長3(1598)年の疫病退散を願って京都の祇園神社から勧請した神社で、幣殿には「祇園社」の額が掲げられている。祇園神社は疫病治癒祈願の神社で、夏越祭での茅の輪くぐりの祭礼は祇園神社から始まったものである。祇園神社の祭神が牛頭天王であることから、地域では古くから「オテンノウサン」と呼ばれていた。

と呼ばれていた。

大谷川の扇状地にある横田地区は旧伊予川水圏の恵みがなく、飲用水に大変苦労した時代があった。また、享保の飢饉では横田村の6割以上の人が亡くなっている。明治期に入っても大谷川の氾濫で地域は疲弊した。横田地区には苦しい環境の中でも村人の知恵が発揮されてきた歴史がある。次号に続く。(鷲野共次郎記)

【参考文献】北伊予の伝承編集委員会編『北伊予の伝承』2～14号  
松前町東公民館 1995～2018



■横田地区の条里制

全体に典型的な条里地区であることが見られるが、東西を流れる大谷川南部はほぼ正方形に区画され、一部が伊予市に入り込んでいる。中世に所在していたことが分かる歴史のある地区である

【出典】データベース「えひめの記憶」

#### 2 素鷲神社

新造が生誕した祇園精舎の守護神牛頭天王が祭神の「祇園社」は、疫病治癒祈願の神社として全国に広まった。天皇親政を進める明治政府は、神仏混淆である「祇園社」を廃し、素盞鳴命を祭神とする「素鷲神社」に改称させた

9月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136



【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日  
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457  
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313  
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398



⑥日頃から「防災」について家族で話し合うことが大切と訴える講師

⑥熱心に学ぶ参加者



### 高齢者への身近な防災講座

毎月順番に活動内容をお届け!

7月3日、本年度1回目の高齢者大学を開催しました。

町危機管理課の担当職員による「高齢者への身近な防災講座」では、1月1日に発生した能登半島地震の被害や復旧状況を知り、町内の避難場所などを改めて確認した参加者。地震が起こる前に避難場所や避難ルートを「知る」こと、どう行動するか「考える」こと、地震が発生した際の課題に「気付く」ことが大切だということを学びました。

講座の最後は、参加者と講師とで活発な意見交換を行い、参加者は災害に備えることの大切さを再認識していました。皆さんも地震に備えて、身近な人と話し合ってみてはいかがでしょうか。

## Let's Enjoy Books

# ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時  
◆問い合わせ ☎ 985-4140  
FAX 985-1386  
<https://www.i-masaki.jp/library/>  
◆9月の休館 30日(月)

おはなし会  
21日(土)11時～  
文化センター  
2階  
ふるさと学習室

### ◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶犬ではないと言われた犬  
向坂くら・著  
百万年書房



これは犬である、と言い張れば、犬ですー。今、最も注目を集めている詩人であり、初小説が第171回芥川賞候補作品となった作者の「言葉」を巡るエッセイ集

▶たぶん私たち一生最強  
小林早代子・著  
新潮社



高校時代からの女友達4人。そろそろ人生の選択を迫られる年齢を迎え、思い描いたのは「4人で一生一緒にいる暮らし」。最弱な夜にひらめいた、「一生最強」の人生を選ぶ物語

▶わたしの知る花  
町田そのこ・著  
中央公論新社



犯罪者とうわさされていた老人の死。遺されていたのは、たくさんのノートとひまわりのブローチ。女子高生と老人の「出会いと別れ」から始まる、花束のような物語



▶孫のトリセツ  
黒川伊保子・著  
扶桑社

AI時代の子育てのキーパーソンは「祖父母」。「発想力」「対話力」「問いを立てる力」といったAI時代に必要な能力をすくすく育てるため、私たち祖父母が考えるべきことを伝える



▶言語学クエスト  
ことらボリ・著  
彩図社

なんだか強そうに聞こえる「ゴルゴンゾーラ」。時間に使われる「先」は過去なの?未来なの?ことばの不思議を探索するYouTuber「ことらボ」初の書籍



▶ネットがいじめられたら、どうすればいいの?  
春名風花・著  
河出書房新社

小中高などで増える、誹謗中傷や嫌がらせなどのSNSいじめ。被害者・加害者にならないためにはどうすればいいの、弁護士や精神科医など5人の専門家と考える